



や ま だ

育みたい3つの力

校長 佐久間 郁子

「ここは校長室」「えっ、本当？中にいるのかな」「静かに、静かに」その声に廊下に出てみました。黄色い帽子をかぶった1年生を連れて、お兄さん、お姉さんの雰囲気をもった2年生が話し掛けています。そういえば、その数日前、4、5人の2年生だけのグループが、「ここでどんなクイズ出そうか」とか、「次、どこに行くことにする？」と相談する姿がありました。

これは、生活科の学習の一環として、2年生と1年生が合同で行う校舎内探検です。1年生と2年生がかかわり合いながら共に学ぶことを目指しています。1年生は、2年生の案内に従って校舎内を回り山田小学校の各教室の位置や過ごし方などを覚えるとともに、優しく頼れる姿に憧れます。一方、2年生は、1年生と共に活動していこうとする意識やどのように説明したり行動したりすると1年生に伝わりやすいか相手意識と目的意識をもって活動する力を高め、思いやりの心や自尊感情を育むことができます。このように、互いを思いやり学び合う姿は、山田小学校が子どもに育みたいと考えている次の3つの資質・能力に含まれています。

◎「思考する力」

「思考する力」は、よりよい考えを見出せるよう、自分の考えと友達のを考えをつないで捉え直したり、既習や自分の経験をつないで考えたりする力です。課題解決場面において、初めはA案がよいと思ったが友達のB案を聞いて自分もB案がよいと思ったとか、友達の考えを聞いてやっぱりA案がよいと思ったというように、対話により考えを広げ深めるように働き掛けます。

◎「かかわる力」

「かかわる力」は、互いに認め合い、支え合い、協働する力です。例えば、日々の授業や児童会行事の山田っ子祭りでは学級の仲間と、にじいろ班活動では異学年の仲間と一緒に活動することにより、自分の思いを伝えたり相手の思いを知り折り合いをつけたりすることができるよう活動の場の工夫や支援を行っています。

◎「自律する力」

「自律する力」は、目標をもち、挑戦したり、粘り強く取り組んだり、思ったようにうまくいかなくとも気持ちを整えて乗り越えたりする力です。取組の結果にのみとらわれることなく、取組の過程を大切にする活動を取り入れていきます。

学校の教育活動は、園から小学校、小学校から中学校への進学を見据えた連携、家庭や地域と協力しながら進めていく連携とが、有機的に機能することによって、より確かな学びへと結び付いていきます。

今年度も皆様のお力をいただきながら学校運営を進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。